

# 鈴木ひでなおの 9月議会報告

## 補正予算

### 道の駅の周辺整備に5,000万円

道の駅裏の砂利の駐車場は、芝生広場となり、子どもの遊び場ができます。事務所、電動自転車等の倉庫、屋外トイレの建て屋もできます。



ふわふわドーム(イメージ)

## 令和5年度 決算

- ・元気に安心して暮らせるまちづくり
- ・知りたい・行きたい・関わりたいまちづくり
- ・持続可能はまちづくり

以上のコンセプトの下、立てられた予算であったが、概ね達成されたと承認された。

### 私の考え

人口減少に伴う税収減少と諸物価高騰のため、厳しい財政運営が続いている。

しかし、その中でも新規事業に組み込み、転入が転出を上回った。今後も町民の幸せのため、また、町外の方に響く小川町になるよう、力を尽くしていきたい。

## ☆ 第10号 ☆

発行 令和6年10月1日

発行及び編集人  
鈴木ひでなおを育てる会

## 📢 3つの質問をしました

※質問と回答は、要旨です。「原文通り」ではありません。

### Q1 パトリアの価値について

- ①空調等が直ればパトリアの価値は、より広がると思われるがどうか。
- ②空調設備の不調により7月から貸館がストップしている。当町の公共施設の今後を考える上で、住民の意向を確かめた上で方向を決めるべきだと思うがどうか。

#### A1 長生き支援課長

- ① 真夏のクーリングシェルターや災害時のお風呂として活用は広がると思います。が、学校のプールの代替とするのは難しいと思います。
- ② 公共施設はそれぞれ役割・機能・重要度等が違うので、総合的に在り方を検討していきます。

### Q2 水道水の安全性について

当町の水道の有機フッ素化合物の含有量の詳細は。

#### A2 上下水道課長

PFOS、PFASについては、今年度、当町の全ての水源と浄水直後の浄水と当町の末端の蛇口からの水道水を調査して、全て検出下限値を下回っていました。

### Q3 太陽光発電設備の適正な設置及び管理等に関する条例の有用性について

- ①自然災害等でパネルが飛んだり、土砂崩れが起きた際、事業者が補償できる資金力があるか精査できるか。
- ②設備の廃止の際、パネルの撤去・廃棄をはじめ、土地の原状回復はどうなるか。
- ③事業者が変わる場合の説明会の扱いは。

#### A3 環境農林課長

- ① 事業者の資金計画を確認する中で資金力についても調べます。
- ② パネル等の廃棄物の処理については適正に行かせます。土地の原状回復については、協定に盛り込む等協議します。
- ③ 説明会の開催日時・場所をホームページ等で周知し、説明会には町職員も出席します。

質問を終えて・・・

## 私の所感

◎Q1のパトリアについては、今回4人の議員が取り上げ、どの議員も現状を憂い、何とか復活させたいという空気が議場に広がった。後は、町の決断にかかっているとも言える。  
◎Q2の水道水のPFASの含有量については安全性が確認できた。  
◎Q3の太陽光関係については、住民に寄り添った回答がえられたように思う。

## 📢 今後の私の検討課題

### 【UECHUの地元住民の活用】

来春には、校庭に高齢者施設ができて人の往来も増えていくものと思われます。

ただ、今もUECHUを訪れたことがない方もいらっしゃる。多くの方に知っていただき、活用してほしいです。

そこで、カフェに地元の住民が出店する日を設けたり、せっかくできた特産品売り場を継続できるようにしたりすることが必要だと考えています。

### ご意見・ご要望は

✉ marusu745340@gmail.com

☎ 070-5374-5891



YouTube



ホームページ

☆YouTubeで町の文化や行事、がんばる若者たちの姿、心に感じる思い、などなど・・・配信しています。

ぜひ、ご覧になってください！



## 3つの政策の進捗状況

### 1 自然を守る

旧国道254の下里にあるパチンコ「彩の風」跡地の駐車場で、印刷機等の解体作業が続いています。（写真参照）

目の前には農業用水となる沼があり田畑に繋がっていますので、廃液等が流れ出ないように注視します。

### 2 子育てをサポート

小川町の子育て支援は、様々メニューがあり充実していますが、それが一目で見られるものがありませんでした。それが、このほどできましたので、質のよい紙に刷って、ホームページにも反映させるように提言しました。

### 3 高齢者をサポート

奈良梨の市野川の護岸工事が終わりましたが、工事で使った町道の補修が不十分のままでした。地元の方と現地を確認し、町を通して県に働きかけています。



この奥で解体が進んでいます

## あふれる 小川町愛！

先日、「大人のためのおがわ学」講座で、小川町のかるた作りのワークショップがありました。

参加者は、一般住民の他に小川町に係わっている大学生、地域おこし協力隊の方もいました。

かるたを作るに当たって、まず小川町の魅力を出し合いましたが、山並みや田園風景と清流等の自然環境が多数でしたが、街のことを考える人・ユニークな人が多いというのも共通でした。

こんな句ができました。

町想い 個性輝く 小川人(おがわびと)

## 11月9日(土) UECHU(旧上野台中)で 10日(日) 芸術祭が行われます



昨年秋に行われた「秋まつり」に匹敵するような祭りとなります。

- ・UECHUに入居しているプロの芸術家の造形作品を野外&屋内に展示
- ・東小川住民の芸術作品を展示（書、細川紙、絹のストール等）
- ・多くのキッチンカーの出店
- ・手作りワークショップの開催
- ・お茶会 etc

ぜひ、お出かけください！



## 限られた予算の中でも 夢をもって臨みたい！

### ◎パトリアの復活

12月には、町としての方向性が示されるとのこと。

パトリアの価値を120%発揮できるように、様々可能性を見い出して多くの方と連携し実現したいです。

### ◎給食センターの新設

有機農産物が使いやすいように、炊飯施設を併設するように、町に働きかけていきます。



改修が望まれるパトリア